

会 議 録

1 会議名

令和4年度第11回吉川区地域協議会

2 会長挨拶

3 議題（公開・非公開の別）

- ・報告事項（公開）
 - （1）会長報告
 - （2）委員報告
 - （3）事務局報告
- ・協議事項（公開）
 - （1）自主的審議事項
 - （2）その他
- ・総合事務所からの諸連絡について（公開）
- ・その他（公開）

4 開催日時

令和4年12月15日（木）午後6時30分から午後8時10分まで

5 開催場所

吉川コミュニティプラザ 3階 大会議室

6 傍聴人の数

2

7 非公開の理由

なし

8 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：五十嵐豊、江村奈緒美、薄波和夫、片桐利男、佐藤 均、関澤義男、高野幸夫、橋爪正平、山岸晃一

- ・事務局：吉川区総合事務所

風間所長、平山次長、渡邊市民生活・福祉グループ長（教育・文化グループ長兼務）、平原総務・地域振興グループ班長、霜鳥総務・地域振興グループ主任、滝澤柿崎区総合事務所産業グループ班長、玉井柿崎区総合事務所産業グループ班長

9 発言の内容（要旨）

【平山次長】

- ・会議の開会を宣言
- ・委員 9 人の出席を報告
- ・上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・会議録の確認：五十嵐委員

【山岸会長】

- ・挨拶

【平山次長】

- ・議長の選出について、上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により山岸会長から議長を務めていただく。

【山岸会長】

- ・次第の 3 報告事項(1)会長報告である。
- ・12 月 1 日に開催された地域のお宝探検隊発表会は、小学校 4 年生と中学校 1・2 年生が原之町と尾神周辺、長峰の取組について発表した。出席された上越教育大学教授から高い評価を受けた。
- ・12 月 4 日に開催された地域福祉活動計画検討会では、行動目標の確認とともに「いきいきほほえみプラン」の名称で計画が策定された。今後冊子になる予定。
- ・12 月 9 日に開催された上越市地区公共交通懇話会は、まちづくり吉川会長、小中学校 P T A 会長、町内会長連絡協議会会長、バス会社役員など 10 名の委員が出席した。第 2 次上越市総合公共交通計画で示された吉川区内のバス路線の今後の再編や予約型コミュニティバスの在り方について話し合われた。総合公共交通計画によると、吉川区内のバス路線は令和 5 年 4 月に見直す予定であったが、予約型コミュニティバスの実験・実証結果を踏まえ、今後の在り方を検討するため、来年春の路線改編は延期となった。委員からは、懇話会や地域住民の意見、計画案の発表の場として、より緊密な会議を望む声が聞かれた。なお、この会に高齢者部会の片桐委員も傍聴されていたので、補足があればお願いします。

【片桐委員】

- ・来年度は総合公共交通計画の見直し時期にも当たり、懇話会も複数回開催し、町内会にも意見を募るとのことであった。

(次第の 3 報告事項(2)委員報告は無かった。)

【山岸会長】

- ・次に、3 報告事項(3)事務局報告をお願いする。

【平原班長】

- ・11 月 24 日視察研修の感想について、資料 1 のとおり説明

【江村委員】

- ・(研修を欠席してしまっただが、) 道の駅「良寛の里わしま」のゼネラルマネージャーの経歴や、道の駅わしまの売りであるガンジーソフトクリームを他の道の駅でも見かけた覚えがあるが、これが「良寛の里わしま」を運営している NPO と関係があるのか、分かれば教えてほしい。

【平原班長】

- ・マネージャーの詳しい経歴までは伺っていないが、もともと地元の方と聞いている。道の駅の売店・食堂として使用している古民家は、マネージャーの実家を移築したものの事。
- ・ガンジーソフトクリームは、移動販売車を使って、近隣の道の駅にも出張しているとの事であるが、委員がご覧になったものと直接関係があるかは分からない。

【山岸会長】

- ・次第の 4 報告事項(1)上越市吉川ゆったりの郷の一部廃止について、説明をお願いする。

【滝澤グループ長】

- ・資料 2 のとおり説明

【山岸会長】

- ・今週はじめに現地も見学させてもらい、施設職員とも意見交換をしてきた。設備が老朽化していることは確かであるし、担当する職員は重労働でもある。コストについても、これを廃止することによってかかる経費は少なくなるが、利用客減にはならないか心配なところがある。職員の皆さんが一生懸命働いておられる様子も分かった。
- ・何か質問意見はあるか。

【関澤委員】

- ・地域独自予算を使って「道の駅」の活性化を図ることができないか検討している中で、諮問の内容は逆行する話に思える。自分の周りには、酵素風呂があるからゆったりの郷に行くという人がいるくらいである。廃止は残念な話であるが、可能であれば、検討している地域独自予算事業に織り込んで継続を考えてみてはどうか。

【山岸会長】

- ・ 関澤委員の意見は、答申する際の付帯意見として考える部分と理解した。皆さんの意見を伺った上で、答申を出すことになるので、まずは意見として伺っておく。

【江村委員】

- ・ 酵素風呂担当職員は、ずっとそこに貼り付いてその仕事をするわけではないだろうから、実際の人件費は違うのではないか。専従職員であったのか。
- ・ おがくずは1か月に1回換えていたと聞いたが、処分費も含め、これだけの費用がかかっていたのか。

【滝澤グループ長】

- ・ 1人使用すれば、15分間の入浴としても、準備や片付けを入れ、1時間は作業することになる。また、2槽あるが、コロナ禍などから、基本的に1槽で利用している。空いた時間は他の業務に就くことになるので、兼務の形で人件費を計算している。
- ・ おがくずは、1か月に1回全て交換。酵素の種も経費がかかる。処分費についても報告させていただいたとおりになっている。施設管理者のほうでも交換の仕方を工夫したりして経費を抑える努力をしている。

【山岸会長】

- ・ 利用者が浴槽を出入りする度におがくずを足すと記憶している。また、酵素が反応し一定の温度になるまで1時間ほどかかると聞いている。
- ・ 数字が全てとは言えない部分はあるが、これだけの経費がかかると言ってよいと思う。

【片桐委員】

- ・ 資料には、施設の中に「酵素風呂」とある。酵素風呂は施設なのか。
- ・ マッサージは直営なのか。
- ・ リラックスルームの利用は有料か。

【滝澤グループ長】

- ・ 施設の中に酵素風呂という設備があるということであり、条例で定めているもの。条例に定めているものなので、指定管理者には、酵素風呂を運営してもらわなければならない。今回指定管理者と話す中で、集客につながる色々な新しい事、新しいサービスを実施していきたいという声もあり、酵素風呂がそのことの妨げになっているのであれば、条例から廃止して、市としてもこの設備の存続はしないと考えたところ。
- ・ 市は廃止する、実施しないとしても、指定管理者のほうで譲渡を受けて、経費の見込

みを立て、自主事業として続けていく形は可能。

- ・マッサージは指定管理者が外部の業者をお願いして入ってもらっているもの。
- ・リラックスルームの利用料は無料。家族連れも多いことから、広いスペースを取って休んでいただいている。コロナ禍で、いすの数などは制限させてもらっている。

【片桐委員】

- ・酵素風呂は、市から譲渡を受けて自主事業として実施できるという話。条例で定められている施設・設備の廃止という理解でよいか。

【滝澤グループ長】

- ・そのとおり。

【片桐委員】

- ・今後、自主事業としての復活もあり得るということか。

【滝澤グループ長】

- ・指定管理者のほうで、市から譲渡を受け、経費の計算などを行い「やるべき」という話になればあり得る。

【片桐委員】

- ・（しかし）収支を見ると酵素風呂は赤字である。

【山岸会長】

- ・酵素風呂は他の施設との差別化を図ることができる設備であるが、特有の臭いもあり、現場は苦勞していることは理解している。

【江村委員】

- ・色々なサービスを実施して行きたいという現場の声があると聞いたが、酵素風呂のスペースの今後の利用方法についても声が出ているのか。

【滝澤グループ長】

- ・機械も老朽化しており、撤去したいと考えている。この部屋の活用方針は未定である。

【江村委員】

- ・撤去した後に何かできるのか、撤去しなくても何かできるのか、色々な可能性を探ってほしい。できない、できないという発想ではなく、何かできないかなという発想でお願いしたい。例えば、浴槽を再利用して何かできるかもしれない、といった発想。

【山岸会長】

- ・今後、各委員の意見をお聞きし、答申としてまとめ、提出したいと思う。

【山岸会長】

- ・次第の4 協議事項(1)自主的審議事項の「各部会の取組について」である。
先回の協議会で、若者・移住定住部会からアンケート調査の結果等が提出された。
この結果などから地域課題の解決、解決策を地域協議会として、どのような形にまとめ、どのような形で具体化していくか、まとめて行きたい。今回の協議会に先駆けた正副会長会議でも話をさせていただいたところだが、定例の協議会と協議会の間にも勉強会を行うということを私から改めて提案させていただく。
- ・道の駅の活性化と尾神岳周辺の観光振興については、協議会委員全ての同意のもと、協議していくこととしており、これと並行して部会のまとめを進めて行くには、時間が不足していると感じているところ。
- ・初回は、若者移住・定住部会のまとめ方について審議したいと思うが、1月12日・木曜日にこの会場で行いたいが、いかがか。
(委員からの異議はなかった。)
- ・各委員の意見、地域からの意見、それらを勉強会で述べていただき、取りまとめのほうに協力いただきたいと思う。
- ・時間は定例の協議会より少し早いですが、午後6時からでどうか。
- ・勤務の関係で時間が合わない人もいるかとは思いますが、協議会委員の責務として、ご協力いただきたい。
(委員からの異議はなかった。)

【片桐委員】

- ・勉強会で若者移住・定住の話をするとのことだが、農家民泊を営んでいる皆さんのグループと話す必要はないか。

【山岸会長】

- ・それを含めて、若者移住・定住の進め方やまとめについて協議しようという話である。

【五十嵐委員】

- ・勉強会で色々と話す中で、取り組みや対策が絞られてからの話で良いのではないかと思う。

【山岸会長】

- ・大変貴重な意見であるが、今後の検討の中で皆さんに確認したうえで、考えて行くこととしたい。

【山岸会長】

- ・次に、「地域活性化の方向性について」である。

【平原班長】

- ・資料3に基づき説明

【山岸会長】

- ・今回、委員から提案があった、活性化に向かう「要素」を、大まかに分野分けをしていただいた。委員の中で、この分野をぜひ入れるべき、あるいは、この分野分けは違うのではないかと、また、付け加える要素がまだある、といった意見があれば、願います。
- ・なければ、12日までに確認していただき、改めて委員の意見をお聞きし、素案としてまとめて行ければと思う。若者移住・定住部会の話だけでなく、こちらもお考えいただきたいと思う。

(委員からの異議はなかった。)

【山岸会長】

- ・次に「(2)その他」について。
- ・委員から何かあるか。

【橋爪委員】

- ・まちづくり吉川が「買い物ツアー」を行う。地域活性化を様々な団体が協議・検討する中で、まちづくり吉川は、商工会と話を詰めて、これに臨んでいるのか。計画を見ると、柿崎区で買い物をする予定になっている。吉川区内の多くの方は、柿崎区で買い物をしているのは分かるのだが、一考の余地はなかったのか。分かれば教えてほしい。

【風間所長】

- ・先月の町内会長連絡会議で社会福祉協議会から説明があった話であるが、まちづくり吉川と社会福祉協議会で作っている住民福祉会で行っている事業。2月は柿崎方面、3月は合併前上越市方面に吉川区の高齢者などを買い物に連れて行くもの。行先について商工会と話し合ったかまでは分からない。

【橋爪委員】

- ・自分は、買い物に連れて行ってもらえるツアーは良いことだと思っていたのだが、商工会の会員の方が、細々とではあるが地元で頑張って商売をしているのに、まちづくり吉川からの声かけはないのか、と残念がられていた。
- ・吉川区の各世帯から1,000円を協力金としていただいている「まちづくり吉川」が、

あちらこちらで地域活性化が叫ばれる今般、社会福祉協議会と好きに行先を決めるような、このようなことで良いのか、と個人的に考えるところがある。

【山岸会長】

- ・まちの活性化を考えるべきまちづくり吉川が、同じく活性化を目指す商工会に声掛けしないというのはどうなのか、という橋爪委員の意見は、もっともだと思う。

【片桐委員】

- ・協議会の高齢者部会で話し合っている高齢者の（高齢者が使いやすい）交通手段で、まちづくり吉川と社会福祉協議会各々に事業化の検討をお願いしたことがあったが、不調に終わったことがあった。今回は、両団体が一緒になって始めたとのことで期待している。先般行われた交通懇話会でも説明があった予約型デマンドバスとの調整や連携が今後必要になってくると思われるので、部会の中でも話し合っていきたい。

【山岸委員】

- ・自分も今日初めて聞く話であり、協議会として詳細を調べて理解したほうが良いと思うが。

【佐藤副会長】

- ・自分は居住地の代表として住民福祉会の会議に参加し説明を聞いたが、今回の事業「買い物ツアー」は実験的な事業として計画されたものであると考える。来年度以降も計画するという話はなく、住民の皆さんに還元できる事業として急遽計画した事業ということで聞いている。地域活性化のための一つの手段ということで実験的にやることは良いことだと思ったが、そこでは行先を決めた経緯などの説明はなかった。
- ・買い物だけでなく、金融機関や医者といった目的で使うことも考えることができるし、まちづくり吉川なり社会福祉協議会が主催して行う実験的な事業という印象を受けた。

参加する皆さんの声で、より良い取り組みになって行けば良いと思っている。

【山岸会長】

- ・まちづくり吉川と社会福祉協議会のコラボレーション企画のような感じか。

【佐藤副会長】

- ・予算的には社会福祉協議会のようだ。

【山岸会長】

- ・まちづくり吉川、社会福祉協議会のほうには確認したいと思う。

【山岸会長】

- ・その他、委員からなければ、事務局お願いする。

【平原班長】

- ・「吉川区地域活動支援事業活動報告会」について、資料4に基づいて説明

【山岸会長】

- ・報告会については、一般公開で、住民の皆さんからも参加いただきたいということで、土曜日開催。また、先回の協議会での説明の際、何度も集まるのは降雪期でもあるので厳しいという指摘から、協議会併催という案となっている。
- ・各委員、質問や意見はあるか。
(委員からの異議はなかった。)

【山岸会長】

- ・この日程で進めさせていただこうと思うが、開催時間は午前が良いか、午後が良いか。

【橋爪委員】

- ・発表する団体の都合に合わせてはどうか。

【山岸会長】

- ・時間は、発表する団体にお聞きし、決定することとしたい。
(委員からの異議はなかった。)
- ・次に「6 総合事務所からの諸連絡」に入る。事務局にお願いする。

【平原班長】

- ・11月29日、火曜日に行った「町内会長連絡協議会」について報告する。
51町内会のうち、46町内会が出席した。令和4年度除雪計画の説明のほか、総合事務所及び社会福祉協議会吉川支所、まちづくり吉川からの連絡事項について、説明した。主なものとして、総合事務所からは、「令和5年上越市新年祝賀会のご案内」、「道路除雪に備えた準備等のお願い」、「マイナンバーカードの申請に関する周知のお願い」、ガス水道局からは「冬期間の水道管の損傷・事故防止」について説明を行った。社会福祉協議会吉川支所からは、「令和5年度からの会費額の変更」について説明があり、まちづくり吉川からは、「令和5年吉川区新年を祝う会の開催中止」のほか、「住民福祉会事業（買い物外出支援事業）」について説明があった。
- ・12月4日、日曜日に行った「避難所運営訓練」について報告する。
防災士会吉川支部の協力をいただき、避難所運営訓練を実施した。吉川小学校を避

難所としている関係者、11の町内会、施設管理者、避難所担当職員25名が参加して行った。この訓練の趣旨は、いざ災害が発生し、大勢の避難者が発生した場合、避難所の運営を避難者自身が主体的に行っていただくものであることに気づいていただき、地域住民、施設管理者、初動対応職員の三者が連携して災害時に想定される地域の問題について考えるきっかけとし、吉川区の防災意識を高めることを目的としているもの。訓練の内容は避難所開設にともなう様々な問題点の事例をあげてイエス・ノーで考えてもらう方式や、過去の大震災の避難所の様子などをスライドで見てもらい、良い点、悪い点をいろいろな方向で考えてもらうなど、参加者から様々な意見をもらいながら、訓練を行った。訓練後のアンケートではこのような訓練は繰り返すことが大事だと思う。正解のない判断を迫られる避難所運営の難しさがわかった。などの意見をいただいた。

今回、吉川小学校の避難所を対象に行ったが、源地域生涯学習センター、スカイトピア遊ランド、旭地域生涯学習センターを対象に計画し、引き続き防災士会 吉川支部の協力をいただきながら実施していきたいと考えている。

【山岸会長】

- ・「7 その他」各委員のほうで何かあるか。
(委員意見なし)
- ・事務局何かあるか。

【平原班長】

- ・この後、地域協議会だより1月25日発行号の編集委員会を行う。今回の編集委員となる五十嵐委員、江村委員は、協議会の後、中会議室へお集まりいただきたい。

【山岸会長】

- ・他にあるか。
(委員意見なし)
- ・それでは次回の協議会の日程を確認する。

勉強会は1月12日・木曜日、午後6時から。第12回吉川区地域協議会は、第3週木曜日が1月19日となるがよろしいか。

(「はい」の声あり)

- ・第12回吉川区地域協議会は、1月19日・木曜日、午後6時30分からお願いします。
- ・それでは閉会の挨拶を佐藤副会長にお願いします。

【佐藤副会長】

- ・以上で第 11 回地域協議会を閉会する。

1 0 問合せ先

吉川区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL:025-548-2311 (内線 213)

E-mail:yoshikawa-ku@city.joetsu.lg.jp

1 1 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。